

理学部 ディプロマ・ポリシー

■理学部理学科数学コース

【知識・理解】

- ・数学の基礎理論を理解できる。その理解に基づき、さらに高度な諸分野の理論を理解できるようになる。

【思考・判断】

- ・数学の基本的な考え方を身に付け、いろいろな問題設定において数学的・論理的な判断ができる。

【関心・意欲】

- ・未知の課題に取り組む際に、必要な文献等を検索し、収集することができる。また、意欲的に取り組むことができる。

【態度】

- ・過去にあまり経験のない状況に面しても、数学的・論理的に柔軟に対応しようとする態度を保てる。

【技能・表現】

- ・数学的・論理的な訓練によって修得した知識・技能を活用できる。
- ・学習・研究によって得られた知見・考察を、適切な表現で的確に表現できる。

■理学部理学科物理科学コース

【知識・理解】

- ・物理学のもつ美しい数学的側面を理解することができる。
- ・応用の学問としての物理学について、知識が豊富である。

【思考・判断】

- ・演繹的に思考をめぐらすことができる。
- ・帰納的に思考をめぐらすことができる。

【関心・意欲】

- ・好奇心をもって、演習問題や実験課題に取り組むことができる。

【態度】

- ・物理学における基本の修得に余念がない。

【技能・表現】

- ・物理量を定量的に計算または測定することができる。
- ・物理という「共通言語」により、多彩な自然現象を定性的に表現することができる。

■理学部理学科化学コース

【知識・理解】

- ・化学の基礎力を持ち、化学分野の最新情報を理解する能力を身につける。

【思考・判断】

- ・実験から得た事実を論理的に考察し、現象の本質を把握することができる。

【関心・意欲】

- ・化学分野についての関心と疑問を持ち、自ら探究し、解決する意欲を持つ。

【態度】

- ・常に新しい現象を求め、学問的興味と社会へ還元し得る態度を涵養する。

【技能・表現】

- ・化学分野の実験・データ解析技術を身につける。
- ・専門知識および研究成果を、適切な言葉で筋道立てて表現できる。

■理学部理学科生物科学コース

【知識・理解】

- ・専門分野の話題を理解できる基礎的な知識を身につけている。

【思考・判断】

- ・観察や実験データに基づく論理的な思考と客観的な判断ができる。

【関心・意欲】

- ・生物学についての広い関心と強い知識欲をもっている。

【態度】

- ・積極的に学ぶ姿勢を身につけている。

【技能・表現】

- ・調査や観察、実験方法およびデータ解析の技能を身につけ、知見や研究成果を適切な言葉で表現できる。

■理学部理学科地球科学コース

【知識・理解】

- ・数学、自然科学、情報処理および語学に関する基礎的知識を有し、それらを応用することができる。
- ・46億年にわたる地球史を理解するのに必要な基礎的知識を修得している。

【思考・判断】

- ・地球史の理解に基づいて、地球環境を把握できる。

【関心・意欲】

- ・地球史上の過去から現在まで進行しつつある自然現象に興味・関心を持っている。
- ・資源や環境と地域社会や国際社会との密接な関係に関心を持っている。

【態度】

- ・地球科学的な見方や考え方の特質を理解し、さまざまな課題解決に応用できる。
- ・地球科学の知識や技術の社会への貢献を説明でき、科学者や技術者の責任と役割を自覚している。
- ・継続的な探求により課題を解決し、期限内に取りまとめる能力を身につけている。

【技能・表現】

- ・調査・研究結果を口頭あるいは文章によって論理的に表現し、自らの見解をわかりやすく伝えることができる。
- ・地球科学的課題探求に必要な陸域・海域におけるフィールド調査、分析に必要な機器の操作、データ収集・整理の能力や技術を修得している。

■理学部応用理学科情報科学コース

【知識・理解】

- ・情報科学に必要とされる数学の基本理論を理解している。
- ・計算機について、基礎的知識や基本原理を理解している。
- ・ソフトウェアやハードウェアについて、基本方式や基本原理を理解している。

【思考・判断】

- ・社会の現象や実際の身の回りの事象を数理的・情報科学的に考察し、分析することができる。

【関心・意欲】

- ・必要に応じ、求められる文献および資料を的確に収集できる。
- ・情報通信に関わる技術を積極的に修得し、活用する意欲を持つ。

【態度】

- ・修得した情報科学の知識や技術を、実際の場面に適切に応用する態度を持つ。

【技能・表現】

- ・必要な情報機器およびソフトウェアやハードウェアを適切に活用できる。
- ・情報科学に関わる数学やアルゴリズムに基づいて、課題や問題を適切かつ的確に表現できる。また、これらを具現化（ソフトウェア化、ハードウェア化）することができる。

■理学部応用理学科応用化学コース

【知識・理解】

- ・化学の基礎力を持つとともに、化学の応用について理解する能力を身につける。

【思考・判断】

- ・実験から得た事実を論理的に考察し、現象の本質を把握することができる。

【関心・意欲】

- ・化学分野にとどまらず、周辺分野への関心を高め、新しい領域を開拓する意欲を持つ。

【態度】

- ・常に新しい現象を求め、学問的興味と社会へ還元し得る態度を涵養する。

【技能・表現】

- ・化学および応用化学分野の実験・データ解析技術を身につける。
- ・専門知識および研究成果を、適切な言葉で筋道立てて表現できる。

■理学部応用理学科海洋生命・分子工学コース

【知識・理解】

- ・専門分野の基礎的知識を身につけている。
- ・身につけた知識を活用して、専門分野の最新の成果を理解する能力を身につけている。

【思考・判断】

- ・データに基づいて客観的で論理的な考察をし、適切な結論を導くことができる。

【関心・意欲】

- ・専門分野の情報に対して関心と疑問を持ち、自ら課題を設定して探究する意欲をもつ。

【態度】

- ・ 修得した知識と技能を、新しい問題を解決するために活用できる。

【技能・表現】

- ・ 専門分野の実験技術とデータ解析技術を身につけている。
- ・ 専門知識および研究成果を、適切な言葉で筋道立てて表現できる。

■理学部応用理学科災害科学コース**【知識・理解】**

- ・ 専門分野の基礎的知識を身につけている。

【思考・判断】

- ・ データに基づいて客観的・論理的な考察をし、適切な結論を導くことができる。

【関心・意欲・態度】

- ・ 修得した知識と技能を、新しい問題を解決するために活用する意欲を持つ。

【技能・表現】

- ・ 専門分野の対象をみる技術・データ解析技術を身につけている。
- ・ 専門知識および研究成果を適切な言葉で筋道立てて表現できる。